

2021年6月4日

厚生労働大臣 田村憲久 様

新型コロナウイルスワクチンの職域接種において
非正規雇用やアルバイト労働者等を排除しないことを求める要望書

会派 厚生労働部会

立憲民主党 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種に関する課題検討PT

このたび、新型コロナウイルスワクチンの接種を拡大するため、加藤官房長官が6月21日から大学等を含む職域でのワクチン接種を開始することを表明されました。加藤官房長官の表明では、「非正規で働く人やアルバイトを接種対象とするかどうかはそれぞれの主体で判断してもらいたい」と言及されています。この発言は、逆の解釈をすれば、職域接種において、「非正規雇用やアルバイトで働く労働者を排除できる」というメッセージとなりかねません。仮に、ワクチン接種を希望する非正規労働者の排除が行われれば、ただでさえコロナ禍で深刻な状況にある非正規労働者に更なる打撃を与え、所得の格差に加えて、命の格差を拡大させることにもなりかねません。

そこで、職域接種において非正規雇用やアルバイト労働者等が排除されないよう、下記の措置を要望いたしますので、速やかに対応して頂くよう強く要請致します。

要望事項

1. 職域接種において、非正規雇用やアルバイト労働者等を排除しないよう、田村大臣の会見や厚生労働省からの広報を通じて周知すること。
2. 職域接種において、非正規雇用やアルバイト労働者等を排除した場合には、労働法制に抵触する可能性について注意喚起を行うこと。
3. 職域接種においては、大規模な事業者や法人での実施に偏らないよう、中小事業者や中小法人でも円滑に実施できるように人的、物的支援を充実させること。
4. 職域接種では、ワクチン接種に対する同調圧力が強くなり、ワクチン接種を希望しない人への偏見や不利益取り扱いが生じる恐れがあるので、接種に当たっては「本人の希望が優先すること」を徹底し、不利益取り扱いについては断固対応すること。

以上